

# 八郷伝報

発行所  
茨城県八郷町役場  
発行責任者 岩本佳之  
印刷所 やさと印刷所

町の人口  
男 13,939  
女 14,348  
計 28,287  
世帯数 5,720  
(3月1日現在)

## 八郷町が優良町村として

### 晴れの全国表彰うける

農村地域としての八郷町が生産性の向上のための諸施設とともに生活環境の整備にも力を注ぎ、明るく住みよい町づくりを目指して立派な成績をあげていると認められ、一月三十日全国町村総会の席上優良町村として、晴れの全国表彰を受けました。

この表彰は、合併以来の関係者の努力と町民のかたがたすべてが、町づくりに協力されたたまものです。とくに、町の行なってきた事業のうち次のようなものに大きな成果を収めていると認められ、今回の表彰の対象となったものです。

- ▽農業構造改善事業をはじめほ場整備事業、集団桑園、同柿園の造成事業、稚蚕共同飼育所建設の促進、農地集団化事業、父子契約並びに後継者育成資金の融資事業
- ▽保健衛生事業（ガン検診、血圧測定、貧血検査、母子保健教室、妊婦検診、育児相談、乳幼児検診など）、カとハエのいない町づくり運動
- ▽教育施設の充実（とくに統合中学校の建設と体育館、プールの建設、給食センターの設立）、社会教育の充実推進
- ▽消防施設の整備事業
- ▽治山治水事業

明るく住みよい町づくり  
大きな成果がみとめられて

さる一月三十日、全国町村会総会において、八郷町は四十四年度の優良町村として県を代表し、表彰の栄誉を受けました。町民の皆さん、お喜びください。

八郷町が発足して今年で満一五年になります。県下でも第二の大規模な町村合併であっただけに町民の皆さんが町にかけられた期待も大きなものがあったわけですが、合併第一新町建設計画、第二次計画さらには農業振興計画など、農業振興を主軸とする基本路線に沿って、町民の皆さんの協力によりきわめて順調な行政展開が進められ今日に至っております。

その間、国の施策の転換、経済成長の高度化な



町長 吉田次郎

と、変化する社会情勢のもとに、ときには大きなゆさぶりを受けるながらも、町民の皆さんとともに積み上げてまいりました業績が、今日の表彰の栄誉となったわけでございます。この町づくりにたづなわれた歴代の先輩並びに町民の皆さんに、深い敬意と心から感謝のことは申し上げるものでございます。

ふりかへてみますと、この一五年間に皆さんの事業が積み上げられました。その中でおもなるものをおいては、八郷高校の誘

置、有線放送の開始、小幡小学校の統合建設など。関野町長時代においては、役場庁舎、芦穂統合小学校の建設、広根場林道の貫通など。

私の就任以後においては、柿岡、南、有明中の統合校舎並びに体育館、プールの完成、給食センターの建設。福祉面においては、老人福祉センターの建設、全地区への保育所設置。産業経済面においては、農協の合併、農業共済事業の町移管、半田、月岡地区の土地改良事業をはじめとする農業構造改善事業の実施、

### 表彰の喜びを一転機に

雑糞共同飼育所の設置、農業後継者対策事業など。土木面においては、石岡柿岡間果道の舗装を中心に果、町道の画期的な整備、湯袋観光道路の舗装完成、小見笠間線の整備着工など。さらには消防施設の充実、八郷公民館及び各地区公民館の整備と社会教育活動の充実、観光協会の発足など、私どもが理想とする近代的農村としての内容を、一歩積み上げてまいりました。

しかし、米作調整を転期として、農村の実情は農業形態そのものを改変しようと

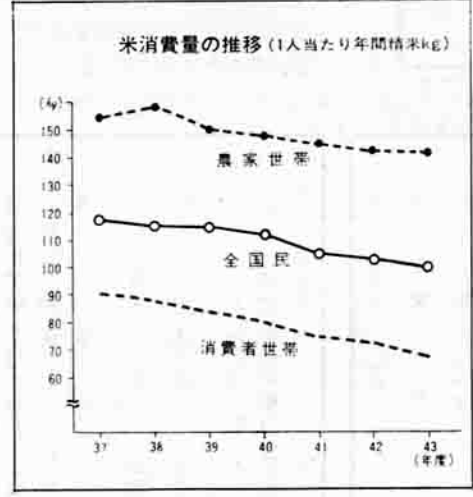
戸別目標は部落の話し合いで

町では、国から要請された減産目標量六四一トン（約一〇〇〇俵）の、転作、休耕を円滑にすすめるため、議会、農業委員会、区長会など各機関代表及び生産者代表からなる、米生産調整推進委員五〇名が選ばれました。

そして、米生産調整推進協議会を開き、町に示された減産目標量の配分の方法、転作、休耕などについて検討を重ねました。

その結果、地区ごとに区長さん、農家組合長さんの説明会を開いて趣旨の普及を図り、戸別目標は、部落の話し合い調整によって部落の目標達成を図ることに決まりました。

区長さん、農家組合長さんら部落の代表者は、部落割当数量や意向調査をもとに話し合い、農家ごとの実情にそくして引受量を決定してもらったことになりました。そして、各農家は、決定した調整目標数量に見合う面積を基準収量で算出し、転作、休耕する田をきめ、



米生産  
町の減産目標は約一万八千俵  
転作、休耕に平均(10a)三万三千円

国は最近の米の需給状況から、過剰生産米の生産調整を図り、食糧管理制度を維持するため、昭和四十五年度に一五〇万トンの減産を図ることになりました。まづ転作休耕で一〇〇万

トシ、残りの五〇万トンは公共団体事業などの土地買上げで、目標を達成しようとするものです。

茨城県には、減産目標量三四、九〇〇トン（面積にして八、四〇〇ヘクタール）

「心配ごと相談日」は毎週の水曜日

土地の争い、遺産相続、夫婦間のもつれなど心配ごとはありませんか。相談員は秘密を守り、親切に相談ののってくれます。毎週水曜日の午前10時から午後3時までの間に八郷公民館へおいでください。

「米生産調整推進協議会」発足

戸別目標は部落の話し合いで

転作、休耕した場合一〇アールあたり、約三万三千円（八郷町）の奨励金が交付されます。

奨励金は、転作、休耕とも同額ですが、昭和四十四年に水稲作付けをした水田

陸田はなるべく  
転換を

新規開田はもちろん、これからの陸田にはできるだけ水稲作付けをしないで、ほかの作物に転換するよう国は望んでいます。

土地改良事業は  
土地改良事業地域は、早期着工、早期完了（夏期施工）をし、集団転作をおすすめします。

「火災」の起こりやすいときです！

暖かくなるとつい火をそまつにします。そのため火災の発生も多くなります。火災ができてからでは遅すぎます。たき火、たばこの吸がら、子供の火遊び、プロパンガスの使用などには十分注意してください。

統計大会開かれる

永年勤続者に表彰状



八郷町統計大会(写真)が、三月四日老人福祉センターで開かれ、統計功労者

の表彰を行ないました。大会の席上、町長は永年勤続者の表彰と退職者に感謝状を贈りました。また、県統計協会総裁賞の表彰伝達もありました。

- 町長表彰
▽吉田茂雄(柿岡)
▽吉田義雄(〃)
▽小松崎兵吾(〃)
▽木村隆司(下青柳)
▽三輪実(上青)
▽柴山豊(吉生)
▽本園慶二(〃)
▽古谷田安一(大塚)
▽鈴木清隆(瓦部原)
▽鈴木清男(瓦部)
▽鈴木充雄(〃)
▽上田幸之助(根小屋)
▽相田喜雄(小見)
町長感謝状
▽小松崎好文(柿岡)
▽上曾文雄(〃)
▽上田正滋(小幡)
▽関野弘一(〃)
▽鈴木政夫(〃)
▽鈴木順吉(〃)
▽本園業弘(吉生)
▽佐々木正三(大塚)
▽大沼健三(大塚)
▽富田雪雄(大塚)
▽小川原達男(瓦部)
▽小松要(〃)
▽鈴木源四郎(〃)
▽永瀬直造(宇治谷)
▽幡谷正太郎(山崎)
▽山田政雄(〃)
▽本多作三(真家)
▽皆川浩行(東成家)
▽額賀修三(下林)
▽開田千重(片岡)
▽飯村孝行(上林)
▽市村愛村(〃)
▽石井喜左エ門(仏生寺)
▽鈴木長一郎(小屋)

- 県統計協会総裁賞
▽川井林平(柿岡)
▽大久保茂(〃)
▽高橋専之介(〃)
▽大塚春雄(〃)
▽関茂雄(片野)
▽木崎真(上青柳)
▽高橋信一(下青柳)
▽板井明弥(小屋)
▽中島正美(小屋)
▽木村修(大塚)
▽石田茂(〃)
▽友部正一(飛田忠)
▽友部正一(〃)
▽鈴木光雄(大塚)
▽藤岡孝夫(太田)

- ▽来栖国勝(中戸)
▽藤岡忠(小見)
▽路川忠直(瓦部)
▽真家恒男(柴間)
▽山田政男(山崎)
▽鈴木和雄(〃)
▽長谷川要(真家)
▽本多政雄(〃)
▽倉田彦四郎(〃)
▽百藤二男(東成井)
▽小池龜太郎(〃)
▽木村健一(〃)
▽開田千重(片岡)
▽島田和夫(加良寿理)
▽飯塚健之助(下林)
▽鈴木栄次郎(〃)

剣道・柔道・弓道

教育委員会、体育協会主催の武道大会が、三月八日柿岡中の体育館とグラウンドを会場に、一般、中学生二〇〇名が参加して、技を競いました。

- ▽団体(二年)
①南中A
②有明中A(一年)
③有明中C
④有明中D
⑤個人(二年)
⑥増田明(南中)
⑦吉田登(有明中)
⑧横山登(有明中)
⑨谷島広行(有明中)
⑩関忠夫(南中)
⑪池田均(有明中)
⑫鈴木昭光(有明中)
⑬萩原進(南中)
▽柔道
▽十射 ①田上茂夫 ②関重雄
▽射結 ①関豊

国民年金 大幅に改正される

夫婦月2万円、保険料は月一律450円に

老後の生活の安定のために、また病氣やケガで働けなくなったときのために、あなたと国が協力して積み立てておく制度——これが国民年金です。国民年金をさらによくしようと、無拠出制(福祉年金)年金については昨年の10月から、拠出制年金については

今年の7月から大幅に改正を行ない、いよいよ夫婦で月額2万円の国民年金が生まれることになりました。このため、保険料の額も今年の7月1日から年齢による差を廃止し、だれも月額450円になります。なお、改正前と改正後のおもな点は下表のとおりです。

あなたの年金額

Table with 2 columns: 年齢 (Age) and 年金額 (Annual Pension Amount). Rows range from 10 to 25 years old.

所得比例年金

Table with 2 columns: 加入方法 (Joining Method) and 年金額 (Annual Pension Amount). Rows include 強制加入者 (Compulsory members) and 任意加入者 (Voluntary members).

Table titled '無拠出制の年金' (Non-contributory Pension). Columns include 年齢 (Age), 年金額 (Annual Pension Amount), 支給開始 (Start of Payment), 支給停止 (Stop of Payment), and 受給資格 (Qualification for Receipt).

Table titled '拠出制の年金' (Contributory Pension). Columns include 年齢 (Age), 年金額 (Annual Pension Amount), 支給開始 (Start of Payment), 支給停止 (Stop of Payment), and 受給資格 (Qualification for Receipt).

Table with 2 columns: 年金額 (Annual Pension Amount) and 受給資格 (Qualification for Receipt). Rows include 戦争公務 (War Public Service), 加算 (Addition), 制限の緩和 (Relaxation of Restrictions), and 廃止 (Cancellation).

Table with 2 columns: 年金額 (Annual Pension Amount) and 受給資格 (Qualification for Receipt). Rows include 一時年金 (Temporary Pension), 母子年金 (Mother's Pension), and 遺族年金 (Widow's Pension).

Table with 2 columns: 年金額 (Annual Pension Amount) and 受給資格 (Qualification for Receipt). Rows include 老齢年金 (Old-age Pension), 障害年金 (Disability Pension), and 遺族年金 (Widow's Pension).

注) 上段が改正前、下段が改正後。拠出制が今年の七月から、無拠出制が四十四年十月から改正。

# 第3回 「県南畜産共進会」町で開催

## 乳牛、豚72頭が優劣を競う

第三回県南畜産共進会は二月二十二、二十三日の二日間、八郷公民館を会場に盛大に開かれました。

この共進会は、県南地域畜産振興協議会、八郷町など六団体が主催し、県南畜産衛生所などが後援して開催したもので、乳牛及び種豚の改良を図り、健全な畜産経営の確立などをさせようというものです。

出品したのは、乳牛二四頭、豚四八頭で、この中には八郷町からの乳牛一頭、豚七頭が含まれています。

共進会は二日間にわたったため、飼育者は前日の日から乳牛や豚といっしょにグラウンドに泊り込むという熱のいれようでした。第一日



入賞した富田さんの乳牛



津布久さんの入賞した豚

目は、午前九時三〇分から午後四時まで、個体審査や比較審査などが行なわれ、比較審査などが行なわれ、第二日目は、審査発表や審査講評につづいて、たくさんの記念品をそえて表彰が行なわれて二日間の共進会を終りました。

二日間を通して、優秀な乳牛や豚をみようとたくさんの人がおとすれるとともに、商工会青年部の出版販売や農機具の展示会があった、共進会を盛り上げてい

ました。町から出品の入賞者は次のとおりです。

**入賞の乳牛、種豚**

**乳牛の部**

- ◎一等二席 富田正一(大塚)
- ◎一等一席 同 桐義雄(中戸)
- ◎同 渡辺操(小幡)
- ◎同 谷口多磨(小幡)
- ◎一等三席 飯田弘行(小幡)
- ◎同 川井伸夫(小幡)
- ◎二等一席 岡野誠(大塚)
- ◎同 飯田好夫(小幡)
- ◎二等二席 島田利(加良寿理)
- ◎同 田中安造(小屋)
- ◎二等三席 鈴木米造(瓦谷)

**種豚の部**

- ◎一等一席 津布久恒治(小幡)
- ◎同 金子数男(小幡)
- ◎二等一席 足立忠雄(川又)
- ◎同 金子数男(小幡)
- ◎同 松崎孝(弓弦)
- ◎二等四席 津布久恒治(小幡)
- ◎同 中村茂夫(小幡)

# 町内にキジ70羽放す

## 猟区巡視員らに感謝状贈る

狩猟禁止にはいった二月二十四日、町営猟区や一般猟場にキジ七〇羽を放しました。

キジの放鳥は毎年行なっているもので、今年も町営猟区と瓦会、恋瀬、芦穂の三カ所で、来年は小幡、小

坪井さんが、野生のキジと同じように飼育したもので手離れしたキジは、空高くまいあがり、姿を消してしましました。このようにキジの放鳥をつづけるのも、年々捕獲数が多くなっているからです。例えば、町営猟区内のキジは、解禁前約三〇〇羽と予想されましたが、終猟の二月十五日までに別表のようにキジは一四八羽も捕獲されました。このままゆけば、二、三年でキジはいなくなってしまう。キジを長く楽しむためにも放鳥

は必要になってくるわけですが、町営猟区の設置にともない、猟区を巡視したり、猟の案内をした人たちの功績に感謝状を贈りました。その人たちの名前は次のとおりです。

**猟区巡視員**

- 植竹義弘(上曾)
- 関統郷(半田)
- 深作保(東成井)
- 坪井和夫(小幡)
- 関口昇一郎(根小屋)

**猟区案内人**

- 鈴木慶之助(下林)
- 岩田良一(半田)
- 小松崎常男(小幡)
- 榎井清太(小幡)
- 萩原純(月岡)

坪井さんが、野生のキジと同じように飼育したもので手離れしたキジは、空高くまいあがり、姿を消してしましました。このようにキジの放鳥をつづけるのも、年々捕獲数が多くなっているからです。例えば、町営猟区内のキジは、解禁前約三〇〇羽と予想されましたが、終猟の二月十五日までに別表のようにキジは一四八羽も捕獲されました。このままゆけば、二、三年でキジはいなくなってしまう。キジを長く楽しむためにも放鳥



### 捕獲実績

種類	捕獲数
キジ	148
ヤマドリ	17
キジバト	118
コジュケイ	230
モギ	50
サギ	9
シラス	12
ズリ	5
計	590

### す放す 視巡 区猟

は、二、三年でキジはいなくなってしまう。キジを長く楽しむためにも放鳥

# 「社会教育研究中央集会」開く

## 地区からもちより、全体で討議

昭和四十四年度社会教育研究会中央集会在三月七日八郷公民館を会場に、町NHK、明正選挙友の会などが主催して開かれました。

この中央集会は、昨年末に各地区ごとに地区集会を開き、検討を重ねてきたものをもちより、町全体で話し合おうというものです。

参加者は一七〇名で、三つの分科会に別れたようなテーマで話し合いました。第一分科会……くらしに役立つテレビの利用はいかにあるべきか(子供とテ

レ、家庭の利用など) 第二分科会……豊かな生活をきずくためにはどうすればよいか(農振法と田園都市、観光開発、生産性の向上と農業後継者問題など) 第三分科会……明るく住みよい町づくりをすすめるためにはどうすればよいか(明正選挙、交通安全、公害問題、生活近代化など)

これらのことについて三つの分科会で話し合ったあとと全体会を開き、発表、質疑を行ない午前中で終了しました。今年もかっぱつな意見の交換があり、とくに農業問題などについてたくさんの意見がでて、話し合いの時間が足りないほどでした。

午後は、NHK解説委員 家城啓一郎氏の「一九七〇年の課題」と題して、二時間にはわたり講演があつて、終りました。

# 明るい

## 八郷ライオンズクラブ「ひなまつり」の日

### 保育所児童にプレゼント



児童にプレゼントするクラブ員 一 柿岡保育所で

奉仕活動をつづける八郷ライオンズクラブ(代表枝弘三氏)では、三月三日の「ひなまつり」に、町内七つの保育所と幼稚園を訪問、アイスクリームのプレゼントをしました。このような奉仕活動の計画です。

画については、毎月第一月曜と第三月曜の夜、夕食をともにしながら話し合つて決めていきます。「ひなまつり」の日には決定したがい、クラブ員がわけて保育所をまわり、児童一人一人にアイスクリームをわたすと、突然のプレゼントに児童はたいへん喜んでいました。

# 八郷公民館に新しいピアノ

## ピアノ

婦人会員の熱心な要望などもあつて、このほど八郷公民館では、新しいピアノを購入しました。

ピアノは、公民館としていろいろな催しや、社会教育の面で必要ならば、婦人会や青年団がコーラスの練習をするのにぜひ必要なので、これまで公民館にピアノがないため

小、中学校のピアノを借りて練習をするというような状態が、非常に不便でした。そこで、婦人会員の強い要望となり、婦人会が独自で購入するよう計画もたてましたが、高額なためなかなか購入する目安がつかいません。こうした熱意に町が



ピアノで歌を習う婦人学級生

新年度の予算が議決成立した。総額十億八千八百九十二万七千円の大規模予算

- ◇ 四十五年度は、この予算で町民の幸せを求め、町長の手で町の行政が執行される
- ◇ だが、町の健全な発展は、予算が大型や町長の努力だけで目的は達成できない
- ◇ 幸せを求める町民が丸となり、予算を目的としたり活用する協力態勢がより重要

